

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療英語 Medical English		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(ICDコーディング・医療秘書の資格 取得希望者は必修)	医療事務・メンタルヘルスフイー ルドの履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ICDコーディング I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療通訳 I				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
加藤 遼子	講義棟3階	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
将来医療従事者として働く際に必要となるであろう医療語句を英語で覚え、正しく発音ができるよう学ぶ授業である。この知識はICDコーディング試験を受験する際に必要となる知識である。				
授業の目標				
①医療従事者として必要となる身体の部位・病気の名・怪我の名を英語で正しく発音することができるようにする。 ②日本語で示された医療語句に対となる医療英語を正しいスペルで書くことができるようにする。 ③ICDコーディング試験受験の際に必要な医療英語知識を習得し、試験において一定の点数を取ることができるようにする。				
授業の方法				
テキスト中心に進めていき、各身体の部位に関する語、そして関連する病・怪我の語を学んでいく。各部位ごとに小テストを行い、語のしっかりとした定着を図る。				
学習の成果（学習成果）				
①医療従事者として必要となる身体の部位・病気の名・怪我の名を英語で正しく発音することができる。 ②日本語で示された医療語句に対となる医療英語を正しいスペルで書くことができる。 ③ICDコーディング試験受験の際に必要な医療英語知識を習得し、試験において一定の点数を取ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明、評価方法説明			
第2回目	医学用語の構成			
第3回目	医療英語の形容詞			
第4回目	脊椎・骨格系			
第5回目	ヒトの脳・耳			
第6回目	眼・体腔			

第7回目	皮膚	(小テスト ①)
第8回目	呼吸器系	
第9回目	消化器系	
第10回目	泌尿器系	(小テスト ②)
第11回目	循環器系	
第12回目	神経系	
第13回目	男性・女性生殖器系	(小テスト ③)
第14回目	その他用いられる医療英語	
第15回目	授業の総復習、理解度チェック、解説	
事前・事後学習	[事前] テキストで発音の分からない語をあらかじめ辞書で予習をしてくる。 [事後] 授業内で扱った内容で理解できなかったものを繰り返し復習をする。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に意欲的に参加している。発音練習の時にしっかり口を動かし、正しい発音をしている。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	小テストで一定の点数を取っている。
試験	40%	期末試験で一定の点数を取っている。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
授業中に指示します		
履修上の留意点・ルール		
毎授業、英語の辞書を持参すること。授業開始後30分以上たってからの入室は欠席扱いとする。欠席をした場合は欠席届を提出すること。		